

2026年度町田市教育委員会

第4回定例会会議録

1、開催日 2026年7月3日

2、開催場所 第二、三、四、五会議室

3、出席者 教 育 長 小 池 慎一郎  
委 員 後 藤 良 秀  
委 員 井 上 由 奈  
委 員 関 根 美 咲  
委 員 丸 節 子

4、署名者 教育長  
委 員

|           |                 |         |
|-----------|-----------------|---------|
| 5、出席事務局職員 | 学校教育部長          | 西 澤 弘 泰 |
|           | 生涯学習部長          | 中 村 考 志 |
|           | 教育総務課長          | 伊 藤 豪 章 |
|           | 学務課長            | 池 澤 竜 臣 |
|           | 指導室長（兼）指導課長     | 杉 浦 元 一 |
|           | 指導課担当課長（統括指導主事） | 新 井 拓   |
|           | 指導課担当課長         | 水 谷 成 臣 |
|           | 生涯学習総務課長        | 早 出 満 明 |
|           | 生涯学習総務課担当課長     | 貴 志 高 陽 |
|           | 生涯学習センター長       | 川 瀬 康 二 |
|           | 市民文学館担当課長       | 菊地原 裕   |
|           | （町田市民文学館長）      |         |
|           | 書 記             | 坂 牧 悠 子 |
|           | 書 記             | 板 垣 有美子 |
|           | 書 記             | 齊 藤 華 子 |
|           | 書 記             | 天 野 昂   |
|           | 速 記 士           | 帯 刀 道 代 |

6、提出議案及び結果

議案第 8 号 町田市立学校職員出勤記録及び出勤簿整理規程についての一部を改正する規程について

原 案 可 決

7、傍聴者数 3 名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第 4 回定例会を開会いたします。

それでは、本日の議題に入ります。

本日の署名委員は丸委員です。

日程第 1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず、私からご報告をさせていただきます。

先月、6 月 24 日（水）に市民文学館ことばらんどで開催されていた「NEO 古典主義ー再生する日本古典文学の世界ー展」を見に行ってきました。当日は学芸員の方から丁寧な説明をしていただき、とても興味深く参観できました。

後ほど館長からも実施報告がありますが、開館 20 周年を記念した企画展にふさわしく、日本の代表的な古典文学作品を現代作家がさまざまな方法で表現しており、古典を楽しませてくれるものでした。懐かしさとともに新しさも感じられた素晴らしい展覧会でした。先月 28 日で終了しましたが、次の展覧会もぜひ見に行きたいと思いました。

私からの報告は以上でございます。

そのほかの主な活動はお配りしております資料のとおりでございます。

次に、委員の皆様からご報告をお願いいたします。

○後藤委員 6 月 26 日に市教委訪問で大蔵小学校に参りました。3 年目となる岩月校長先生から、学校経営方針として、「日常の授業における授業力を向上させること」、「地域連携教育などに力を入れていること」という説明を受けました。その後、授業を参観させ

ていただきました。

「授業をデザインする 8 つの取組」のうち、「認め合う・学び合う集団の形成」、「価値ある対話の共有」、「見通しをもたせる導入」、「発問の工夫」に学校としては重点を置いているようで、これらのことが大半の授業で視点として上がっていました。

一方、「構造的な板書とノート指導」、「思考ツールの活用」、「ICT 機器の活用」、「振り返りの設定」、これらについては授業そのものに視点を置いたものは少ないようでした。

1 日の状況だったのですが、この学校の特徴としては、学び方には力を入れているんだなとは感じましたけれども、基礎的・基本的な技能面、あるいは思考力育成への取り組みが若干弱いのではないかと感じられました。

この傾向は何も大蔵小学校だけではなくて、多くの学校でも見られ、町田市が求めている学び続ける力の育成には、自分の考えや思考したことをノートに記述して表現すること、考えるすべの 1 つである思考ツールを効果的に活用すること、学びをメタ認知して調整できる振り返りの設定をすること、ICT 機器を活用して個別最適な学びを工夫すること、このような点が必要であり、一層、力を入れてほしいなというふうにも思いました。

「町田市教育プラン 24-28」の児童・生徒の学び続ける力を高めるための授業改革も 3 年目の中間年になりました。学校ごとの授業改革の実現状況が大変気になるところです。

私からは以上です。

○教育長 ほかにございますでしょうか。井上委員。

○井上委員 東京は 20 年ぶりの梅雨らしいお天気ということで、昨年より大幅に低い気温と雨の恵みを肌で感じているところです。

さて、私からは 1 点お話しいたします。6 月 26 日に行われた大蔵小学校への市教委訪問についてです。子どもたちは明るく元気に挨拶をしてくれて、「何しに来たの？」と声をかけてくれる人懐っこさに思わず笑顔になりました。

「楽しく大人も子どもも学び続ける学校に～授業で自己肯定感を高める～」という岩月校長先生の経営ビジョンのもと、校内研究を日常化する仕組みが生きており、先生方は意欲的かつフラットに授業を進めており、複数の目で見られることにも慣れていらっしゃるように感じました。

また、授業だけでなく、中休みに委員会活動の様子も拝見しました。本来は遊びたいはずの時間なのに、学年・男女問わず 30 人ほどが集まり、それぞれのテーマに分かれて意見を交わしていました。自分たちで学校の課題を見出し、解決に向けて自主的に動くおも

しろさを知っている子どもたちの姿はすばらしかったです。

行き詰まっている場合は様子を見て、「この委員とこっちのクラブでコラボなんていうのもありかもね」と担当教諭の声かけも的確で、役割があると張り切って力を発揮することができる子どもたちの活躍の場となっていました。大蔵小学校はコミュニティスクールの研究指定校でもありますので、今後どのように進化していくのか、とても楽しみです。

私からは以上です。

○教育長 関根委員。

○関根委員 私からは、活動の中から2点ご報告させていただきます。

6月16日には東京都若手教員育成研修 1年次（初任者）研修に参加させていただきました。接遇マナー講師の廣瀬弘子氏をお迎えし、メソッドに基づきながら、事例演習などに時折、指導課や私も加わりながら進行いたしました。

会の初めには、教育委員として、初任者教員に期待することについて講話をさせていただきました。教員という子どもたちの成長過程に関わるこの仕事は、尊く、やりがいがあり、魅力的ですばらしい職業だということ、そして子どもたちの人生に大きな影響を与える大変重要な役割を担う存在であるということを常に自覚しながら、教育現場にお立ちいただきたいということをお伝えいたしました。

変化の激しい今の時代だからこそ、教員に求められる資質・能力を確実に身につけることの重要性が高まっておりますし、また、教員には、最新の専門的知識や指導技術などを身につけていくことが求められております。常に学びの精神を持ち、教育の専門家としての確かな力量を身につけ、教員の仕事に対する使命感や誇り、そして、子どもに対する愛情や責任感を教育への情熱に変えて、総合的な人間力を持った立派な先生になってほしいことをお話ししました。

その後、なぜ社会人としてのマナーや接遇を学ぶ必要があるのかを踏まえた上で、第一印象の大切さ、身だしなみ、挨拶のポイント、おじぎの角度の意味、笑顔、表情、話し方のポイント、敬語と言葉遣いとそれらの演習問題、来校者への対応、電話対応に至るまで、実際の学校現場に即した、より具体的な事例を盛り込みながら研修させていただきました。

今年もフレッシュな若手教員が真剣なまなざしで話を聞いており、研修を受けるにつれて、どんどん表情や態度が変わっていくのがしっかりと見てとれました。研修後に感想を聞いたところ、「初めてのマナー研修はとても新鮮だった」、「社会人として学んだことをしっかり胸に刻み、これからの保護者会や面談に臨みたいと思う」、「尊敬語、謙譲語、丁

寧語の区別を改めて整理することができた」、「この知識を学校の子どもたちや周りの先生方にも伝えたい」などというご感想をいただきました。

今の教員生活のスタート時にこのような研修を実施することはとても意義があり、今後の教員生活にも大きく影響します。この学びを一生の宝にして、今後も子どもたちの教育の場に立っていただきたいと思います。

6月23日には、町田市学校運営協議会委員対象CS説明会が午前と午後に分かれて実施され、私は午前の部に出席させていただきました。

「町田市教育プラン24-28」にもありますように、コミュニティスクールにおいて、学校運営協議会の重要性が示されております。そこで、この協議会委員が主体的に学校運営にかかわることを促すこと、校長が示す学校経営方針を承認するための視点や学校評価報告の視点についての理解促進を図ること、そして地域学校協働活動の成果・課題を共有し、各校の新たな取り組みの創出を図ることを目的に、各学校の副校長と委員代表を対象に開催されました。

まず、指導課から、町田市のCSと地域学校協働活動の一体的推進についての説明があり、その後、文部科学省CSマイスターの井上尚子氏から、「町田市小中学校コミュニティスクール～学校運営協議会の運営の工夫～」と題してご講義をいただきました。

学校運営協議会では、具体的に何をすべきなのか。学校運営協議会の運営のポイントは、熟慮しながら協議するという熟議であること。そして、各校のコミュニティスクールづくりは、具体的にどのようにすればよいのかについて事例を出され、お話をいただきました。

その後、情報共有タイムとしてグループワークを行い、各校の学校運営協議会の運営で、「これはいい」、「やってみよう」と思ったことなどを話し合い、「ベストチョイスはこれだ」と思ったことをそれぞれのグループから発表していただきました。皆さんからは、さまざまな画期的なアイデアが飛び出し、その中には実際にすぐにでも取り組めるものもあり、大変参考になったようです。

その後、確認したところ、早速学校運営協議会にて実行した学校も何校かあったようで、大変うれしく思いました。また、私自身、今月の総合教育会議にてCSについてお話しさせていただく上で、とてもよい学びとなりました。今後も各地域の学校運営協議会の皆さんが情報を共有し合う、このような機会を積極的に設けていただきたいと思います。

私からは以上です。

○教育長 よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、町田市議会第2回定例会について、学校教育部長、生涯学習部長から報告をさせていただきます。

○**学校教育部長** 私から、2026年第2回町田市議会定例会の学校教育部所管分についてご報告をさせていただきます。

第2回定例会では、6月1日に市長の市政方針や補正予算等の提案理由説明、9日に質疑、10日に文教社会常任委員会、15日から19日までの5日間に一般質問が行われました。

それぞれについて詳細をご説明いたします。

まず初めに、質疑でございますが、代表質疑として、まちだフィロソフィーについて、まちだの新たな学校づくりについて、学びの多様化学校について、5会派から質問がありました。

続きまして、文教社会常任委員会では、請願1件と補正予算のほか、議案1件について審議をしていただきました。

「一人一人の子どもの命の重みを配慮して成瀬小学校正門前の『手押し信号』の交通安全状況の調査を町田市議会（文教社会常任委員会）と市教育委員会事務局に求める請願」について、幅広く質疑をいただきました。

請願については、委員会では不採択となりました。

補正予算については、学校教育部の分野全般におきまして、多くのご意見、ご質問をいただきました。

「町田市中学校給食センター条例の一部を改正する条例」についても審議されました。それぞれ委員会では可決されております。

行政報告は、「新たな学校づくり推進事業の進捗状況について」を行いました。

最後に、一般質問ですが、学校教育部に対し19人の議員から質問がありました。その内容として、表題だけになりますが、「小山田小学校と小山田南小学校の統合について問う」、「学校における熱中症対策について」、「子どもたちの創造と未来と世界につなぐ『町田市子ども創造キャンパスひなた村』のWi-Fi環境等の整備について」、「EDIX（教育総合展）への参加について」、「学びの多様化について（その3）」、「平和教育・学習について」、「図書指導員制度について」、「美味しい給食の提供について」、「読書習慣を身に付ける取り組みの推進について」、「新たな学校づくり推進計画（鶴川地域）について」、「市立学校教員の休憩時間の実態把握を求めて」、「町田市立小学校 朝の子どもの居場所づくり

事業について」、「多文化共生社会の実現に向けて（その４）」、「香害、化学物質過敏症について（その２）」、「夏休みなどの長期休業期間における子どもの昼食支援と給食センターの活用について」、「学校給食における地域食文化の継承について」、「学校統廃合後等の児童の通学について」、「若年層を匿名・流動型犯罪グループによる凶悪な犯罪の当事者にしないための取組について」、「外国人住民の増加に伴う行政サービスの持続可能性と、全庁横断的な課題対応について」、「本町田ひなた小学校前の道路（町田 624 号線）の暑さ対策について問う」、「給食費無償化に伴う非喫食者への補助について」、「児童虐待対応及び継続支援体制について」、「学校統合に伴う国庫補助金について」、「子育てしやすいまちづくりについて」、「夏季のジャージ登校と休校判断について」、「不登校の子どもたちの状況把握の手法を考える」、「いじめ重大事態の調査の進め方と第三者性の担保について」。

以上が一般質問でございます。

学校教育部の議会報告は以上です。

**○生涯学習部長** 2026 年第 2 回町田市議会定例会の生涯学習部所管分についてご報告いたします。

まず 6 月 10 日に行われました文教社会常任委員会では、第 49 号議案「令和 8 年度（2026 年度）町田市一般会計補正予算（第 1 号）」のうち、生涯学習部所管分についてご審議いただきました。

補正予算に係る審査では、金森図書館の屋上防水工事の実施に係る工事請負費に関する質疑があった後、賛成多数で可決すべきものとされ、6 月 29 日に開催された本会議の表決においても、賛成多数で可決されました。

次に、6 月 15 日から 19 日まで行われた一般質問については、4 人の議員から質問がありました。表題は、「小山町・小山ヶ丘のまちづくりについて問う」、「未来と世界に紡ぐ町田の考古資料について」、「読書習慣を身に付ける取り組みの推進について」、「読書通帳の導入について」です。

そのほか、「平和教育・学習について」に関する再質問がございました。

報告は以上でございます。

**○教育長** そのほか事務局も含めて報告等はよろしいでしょうか。

以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第 2、議案審議事項に入ります。

議案第 8 号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明いたします。

○**学校教育部長** 議案第8号「町田市立学校職員出勤記録及び出勤簿整理規程についての一部を改正する規程について」、ご説明いたします。

本規程は、町田市立小・中学校に勤務する都費負担教職員の出勤記録及び出勤簿の整理に関し必要な事項を定めております。

「東京都立学校職員出勤記録整理規程」が改正され、令和8年4月1日から施行されました。これに伴い、関係する規定を整備するため、改正するものです。

1枚おめくりください。

「改正の理由」について、東京都立学校職員出勤記録整理規程の改正に伴い、関係する規定を整備するため、改正するものです。

「2 改正内容」については、次のとおりです。

(1) 在宅勤務等に関する規定を加えます。

(2) 生理休暇の名称を健康管理休暇に改めます。

(3) 傷病欠勤に関する規定を削ります。

「3 施行期日」について。本規程は公表の日から施行し、令和8年4月1日から適用いたします。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○**教育長** 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関して何かございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りします。議案第8号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、日程第3、協議事項に入ります。

協議事項(1)「町田市文化財保護審議会への諮問について」を協議いたします。本件については担当者からご説明を申し上げます。

○**生涯学習総務課担当課長** それでは、本件についてご説明をいたします。

本件は、町田市文化財保護審議会へ、町田市登録旧跡への登録について、諮問するものでございます。

登録候補は、「石坂昌孝屋敷跡」、「石坂昌孝墓」の2件でございます。

諮問理由でございます。石坂昌孝は、旧神奈川県自由民権運動の指導者として活躍した町田市を代表する民権派政治家です。

「石坂昌孝屋敷跡」は、昌孝が生まれてすぐから居住し、晩年まで政治活動の拠点とした歴史的な場所です。また、昌孝の長女美那が北村透谷と出会い、恋愛結婚へと至ったことから、新しい恋愛観を世に問う契機となった場所でもあります。

次に、「石坂昌孝墓」ですが、こちらは本人の遺言により、地元である野津田に建てられ、現在に至るまで遺徳を偲ぶ地域住民によって清掃活動が継続されるなど、昌孝の人間性、地域社会との関係性を知る上で重要なものと言えます。

以上のことから、町田市文化財指定・登録基準のうち、町田市登録旧跡に該当すると考えられます。

本件につきましては、本年の８月に開催する文化財保護審議会に諮問し、審議していただく予定でございます。

参考資料の１は、文化財保護審議会に審議していただくために、登録候補についてより詳しい内容のものとなっております。

参考資料２は、町田市登録旧跡の規定について記載がございます。

説明は以上でございます。

**○教育長** 以上で説明は終わりました。

これより協議に入ります。

ただいまの説明に関しまして、ご質問あるいはご意見などがございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それでは、本協議内容について、特にご異議がなければ、ご提案させていただいた案のとおり、町田市文化財保護審議会へ諮問いたしたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**○教育長** ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

以上で協議事項を終了いたします。

次に、日程第４、報告事項に入ります。

まず、報告事項（１）について、担当者から報告をさせていただきます。

**○学務課長** 報告事項（１）「町田市就学援助費支給要綱の一部改正について」、2026 年 7 月に実施した一部改正についてご報告いたします。資料をご覧ください。

まず、1の「改正理由」ですが、国の要保護児童生徒援助費補助金の予算単価の引き上げを踏まえ、入学準備金の支給額の増額等を行うために改正するものです。

次に、2の「改正内容」についてですが、2点ございます。

(1)「入学準備金の支給額増額について」ですが、小学校の入学準備金の支給額を5万7,060円から6万4,300円に、中学校の入学準備金の支給額を6万3,000円から8万1,000円に増額するものです。

(2)「移動教室及び修学旅行費の支給回数の制限に関する規定の削除」についてですが、同規定は、事務処理基準に定めることとしたため削除いたします。

3の「施行期日」ですが、2026年7月1日から施行し、同年4月1日から適用いたします。

1枚おめくりください。

2ページ目は、要綱の改正部分をお示ししております。

1枚おめくりください。

3ページ目は、附則といたしまして、施行期日と入学準備金に係る特例措置を掲載しております。

説明は以上でございます。

**○教育長** ただいまの報告につきまして何かご質問などございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(2)について、担当者からご報告いたします。

**○生涯学習総務課担当課長** それでは、「絵本『まっくうの森』でたどる縄文のまちだ展」の開催について、ご説明いたします。

絵本『まっくうの森』は、町田市指定有形文化財の土偶をモデルに誕生したキャラクター「まっくう」が縄文時代を易しく紹介する内容のものでございます。

今回はこの絵本『まっくうの森』を通じまして、縄文時代を広く市民の皆様に知っていただくために、写真やパネルを使ってご紹介いたします。

会場は、町田市立中央図書館の4階・5階の展示コーナーで、会期は7月10日から8月9日までになります。図書館が開館している時間にご覧いただくことができます。

関連イベントとしまして、縄文時代に関する図書を集めたコーナーの設置、また、全国のミュージアムのキャラクターの人気投票であるミュージアムキャラクターアワード

2026 年に「まっくう」をエントリーしておりますので、こちらへの投票を呼びかけるプロモーションを行っていきたいと思っております。

説明は以上になります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（3）について、担当者からご報告いたします。

○生涯学習センター長 報告事項（3）『平和祈念事業』の開催について、説明いたします。

生涯学習センターでは、町田及び日本が経験してきた第二次世界大戦等の記憶を振り返るとともに、平和のあり方を考える機会とするため、毎年8月上旬に平和祈念事業を実施しております。今年度は「81 年前の戦争を振り返り、今の平和を考える」をテーマとし、戦時中の様子や兵器製造に携わった少女たちの思いなど、過去の戦争について広く触れることができる展示のほか、市民団体や大学生が参加する原爆の実相を伝える朗読劇などを開催し、戦争体験の継承に取り組めます。

あわせて、現在起きている戦争について考えるきっかけとなるよう、「お菓子作りで知るウクライナ・平和への祈り」を行います。

開催期間につきましては、2026 年8月6日から8月11日、会場は生涯学習センターで実施いたします。

内容につきましては、1 ページ目から、2 ページ目、3 ページ目と記載をさせていただいております。

その次のページにつきましては、今回、周知しますチラシでございます。

説明は以上になります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（4）について、担当者からご報告いたします。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（4）『NEO 古典主義—再生する日本古典文学の世界—展』の実施報告について」でございます。

文学館では、4 月 25 日から6 月 28 日まで開館 20 周年記念事業といたしまして、春の

企画展、「NEO 古典主義展」を開催いたしました。

本展覧会では、「古事記」や「万葉集」など、日本の代表的な古典文学を題材といたしまして、現代作家が翻案・再構築した小説や漫画、アニメーションなどの作品を通じまして、「古典文学」の魅力を振り返るテーマ展でございました。

期間中の総観覧者数は 2,060 人で、会期 55 日間の 1 日平均は約 38 人となりました。

それでは、2 ページ目をご覧ください。

(1)「関連事業」でございます。期間中 6 つの関連イベントを開催いたしました。全てのイベントがほぼ満員となっております。

続きまして、3 ページ目をご覧ください。

すみません、タイトルが抜けておりますが、「アンケート結果」でございます。来館者の年代は 50 代が 22.6%、60 代が 21.1%と高く、次いで 40 代、70 代となりまして、40 代から 60 代の方が約半数を占めました。

居住地では町田市が 36.1%と最も高く、次いでそのほかの東京都の方が 18.1%、次いで相模原市が 14.3%と、市内及び東京都区内、近隣市域からの来館者が目立ちました。

来館回数は、初めての来館という方が 43.4%と最も多く、次いで 4 回以上のリピーターの方が 39.3%という結果となりました。

一番下の段落、「来場者の」というところをご覧ください。「評価結果」でございます。来場者の 87.1%の方から「大変満足」または「満足」というご評価をいただいております。本展覧会によりまして、古典文学の翻案・再解釈という新しいジャンルに挑戦することができたと感じております。

続きまして、4 ページ目がアンケートの集計結果でございます。

最後、5 ページ目が展示物の写真でございます。

報告は以上になります。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。——よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項(5)について、担当者からご報告いたします。

○市民文学館担当課長(町田市民文学館長) 報告事項(5)、夏の企画展、「『いしかわこうじ あそべる!絵本ミュージアム』展の開催について」でございます。

文学館では、来る 7 月 25 日から、夏休みの子どもたちに向けた展覧会といたしまして、「いしかわこうじ あそべる!絵本ミュージアム」展を開催いたします。

本展覧会では、絵本作家のいしかわこうじ氏とともに、子どもたちが手にとって仕掛け絵本を楽しめるような展示空間づくりにチャレンジいたします。

いしかわこうじ絵本作家デビュー20周年の記念年に、文学館の20周年と合わせまして、ダブル20周年記念事業といたしまして“あそべる！絵本ミュージアム”展をぜひお楽しみいただきたいと考えております。

1番の「開催概要」をご覧ください。開催期間、7月25日から9月27日、55日間でございます。

その下、3番の「関連イベント」をご覧ください。初日の7月25日に作者のいしかわこうじ様ご自身で作品を読み聞かせ、また、トークショーを行います。

その下、ワークショップでございます。8月には子どもたちが楽しめるような作品をモチーフとしたおめんやTシャツづくりなど、企画を考えております。

3ページ目をご覧ください。3ページと4ページがチラシとなっております。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（6）について、担当者からご報告いたします。

○市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（6）「『第20回文学館まつり』の開催について」でございます。

文学館では、10月の開館記念日に合わせまして、2007年度から毎年10月に地域の方々と「文学館まつり」を開催しております。今年度は10月から大規模改修のため休館となることから、9月に「第20回文学館まつり」を開催いたします。

地元住民の方々と一緒にお祭りを楽しみ、文学館通りを中心としたにぎわい創出のイベントとなることを目指しております。

1番の「開催概要」をご覧ください。開催日時は9月6日（日）でございます。

共催ご協力は、昨年度と引き続き、地元の原町田三丁目・四丁目の町内会・商店会の皆様でございます。

一番下の3番「内容」でございます。夏の企画展の「いしかわこうじ展」と同時開催をいたします。それから、子ども向けの映画上映会、また、高齢者の方向けの落語など、子どもから高齢の方まで楽しめる企画を考えております。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして何かございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

本日の議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様あるいは事務局から何かございましたらお願いいたします。——よろしいでしょうか。

以上で町田市教育委員会第4回定例会を閉会いたします。

午前10時33分閉会